

全学	保育学科	養護保健学科	歯科衛生学科	医療秘書学科
1.新しい知識や技能を習得する意欲 向上心を持ち、主体的に行動できる。	1-1.幼稚園教諭及び保育士として求められる 資質・能力を理解し、意欲的に学ぶことができる。 1-2.行事やボランティア活動に主体的に参加する。	1-1.社会人としての倫理観をもち、自主的・自律的に行動することができる。 1-2.多様な体験的な学修を通して、実践的指導力を身につけている。	1-1.常に向上心を持ち、主体的に行動できる。 1-2.ライフステージにおける口腔状態や生活状態を考えた計画的な口腔保健活動が実施できる。	1.秘書技能検定など級別検定においては上位級が取得できる。また、医療秘書に関する資格・検定をより多く取得できる。
2.現場で直面する様々な問題の解決を図ることができる。	2-1.子ども一人ひとりに応じた援助を考えられる。 2-2.問題解決のために地域や家庭と連携する必要性を理解している。	2.専門的な知識や技能、情報を修得・活用し、課題の解決を図ることができる。	2.社会における歯科衛生士の役割と責任を常に自覚し、新たな課題とその対応法を見出すことができる。	2-1.患者さんやそのご家族、それぞれに応じた支援ができる。 2-2.多職種である医療従事者の連携を図るための支援ができる。
3.現場に必要なコミュニケーション能力を持ち、活用できる。	3-1.相手の立場を理解し、人権に配慮したコミュニケーションをとることができる。 3-2.チームで協働することができる。	3.自己表現力や他者理解力、協働する力を養い、適切な人間関係を構築することができる。	3-1.チーム医療における歯科衛生士の役割を理解し、保健、医療、福祉においてその専門的役割を発揮することができる。 3-2.誰とでもコミュニケーションがとれる。 3-3.相手の話をよく聴き、自らの考えや思いを正しく伝え、相手と協調行動がとれる。	3-1.患者さんやそのご家族と状況に応じた適切なコミュニケーションができる。 3-2 多職種である医療従事者と連携を図るための人間関係を築くことができる。
4.修得した知識・技能を、他人と協働して活用できる。	4-1.保育内容の各領域を理解している。 4-2.保育の表現技能を用いて子どもと関わる ことができる。	4-1.学校における養護教諭の役割や保健室の機能を明確に理解している。 4-2.医学・看護学についての基礎的知識や技能を身につけている。	4-1.口腔疾病の病態と原因並びにその予防法を理解している。 4-2.歯科診療の流れ、診療段階に応じた対応ができる。 4-3.個人のセルフケア並びに集団の口腔保健に協働、連携して取り組める。	4-1.医療秘書・秘書の使命や役割を説明できる。 4-2.多職種連携に必要な医学用語を用いたコミュニケーションができる。 4-3.診療報酬請求や医療文書作成などの事務処理ができる。 4-4.患者さんやそのご家族に医療制度に関わる説明ができる。
5.修得した知識や技能を活かし、社会に貢献できる。	5-1.社会人としてのマナーと自己管理能力を身につけている。 5-2.専門的な知識や技能、情報を活用し、保育をめぐる課題に取り組むことができる。	5. 修得した知識や技能を関連付けたり新たな情報を収集したりして活用することで、社会に貢献することができる。	5-1.法令に示されている歯科衛生士の使命、役割を理解している。 5-2.倫理観を持ち、ひとの立場に立って考えることができる。 5-3.①いつも笑顔であること、②いつも挨拶すること、③いつも時間を守ること、④いつも誠実であること、⑤いつも最善を尽くすこと、の「5 つの誓い」に則った行動ができる。	5.修得した知識を活かし、社会に貢献できる。